

社団法人

# 香川県作業療法士会ニュース

発行：(社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内

(社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:[kagawa-ot@star.ocn.ne.jp](mailto:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp)

## 今を大事に過ごし、先を見据える

副会長 松本嘉次郎

日本では、念願の2020年の東京オリンピックの開催が決まり、楽天の田中投手がニューヨークヤンキースへの入団が確定、アベノミクス効果で景気上昇が言われるなど、明るいニュースが聞かれるようになってきました。もちろん、それ以外にも依然として暗いニュースもありますが、少しずつ明るい方向に変化しているように感じます。

一方、医療・介護全体又は作業療法士としては明るいニュースは聞こえてきているのでしょうか？社会的には高齢者の増加にともなう医療費負担や経済状況による社会保障費の捻出の難しさ等が聞かれ、平成25年5月の一般会計歳出総額として、92.6兆円のうち社会保障費が29.1兆円（31.4%）となり、さらに29.1兆円の中で医療費約8兆9千億円、介護費約2兆5千億円となっています。（ちなみに税収は43兆円です。）また、医療・介護保険改正も来年度の4月に行われ、介護保険改正だけでも、自己負担の引き上げ、要支援者向けのサービスの見直し、特養新規入所の要件の見直しなど多岐にわたります。しかし、社会情勢を嘆いても何も変わりません。それならば一人ひとりが前向きに取り組んでいく方が建設的だと考えます。

(一社)日本作業療法士協会でも生活行為向上マネジメントや認知症初期集中支援チームに対する研修会など数々の新しい方向性へ進めるように尽力してくれています。県士会もそれに協力し、作業療法の良さを国民（県民）に対し理解していただくための努力をしていきたいと考えます。また、昨年から認知症予防教室、高松刑務所に対する高齢受刑者等社会復帰支援指導等様々なことに目をむけ作業療法の啓発に尽力しています。これからも県民の方々により良い作業療法を提供し、「作業療法はいいね！」と言われるようにしていくためには、理事等の役員だけでは出来ません。会員の皆様の力が必要となります。「誰かがしてくれる。」ではなく、「自分が作業療法を発展させる。」という気持ちを持ち取り組んでいただければ、未来は明るく照らされるのではないのでしょうか。今を大事にそして未来を見据え力を合わせ頑張っていきましょう。

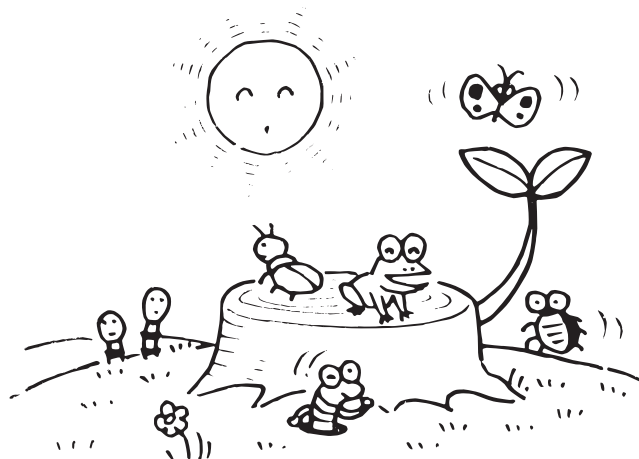


# 先輩の声

No. 7 三光病院  
森本 敏充  
(14年目)



ずいぶん昔になりますが、私も新人の頃は精神科作業療法への熱い思いとは裏腹に、患者さんと向き合う事への難しさを実感し、毎日が緊張と葛藤の連続でした。14年経った現在も変わりなく日々対応に奮闘中です。苦しい時大変な時も多々ありますが、私は仕事の中で少しでも嬉しい部分を見つけてその場を楽しむ様にしています。先日園芸で育てた野菜を使い鍋を作った時、ある患者さんが「先生と一緒に野菜を作って、食べ物の有難さが分かった。むやみに食べ物を粗末にしないよ」と言ってくれました。患者の心の成長を感じると今までの辛かった事が一気に吹き飛びます。仕事だって人生の一部、それなら絶対楽しい方がいいですよ！ 皆さんも仕事の中で自分なりの楽しみ方を実践してみてはいかがでしょうか。



**No. 8** 池田内科医院 デイケアステップ  
藤川 理  
(16年目)



今回の原稿依頼には、正直、戸惑いました。今まで、大した仕事はしてきていないからです。こんな私の拙い考えが、少しでも読んでいただけるみなさんのお役に立つことができれば幸いです。

私が作業療法士になって、早16年という月日が経とうとしています。その間に結婚し、出産したせいもあると思いますが、あっという間でした。多分、この仕事が好きだから、そう感じるのでしょうか。みなさんは、何故、作業療法士になったのでしょうか？ 初心を忘れず、その思いを持ち続けること。そして常に、新しい知識、経験を積み重ねる努力を惜しまないこと。私は、辛くても笑顔を忘れず、現状に満足せず、より良いサービスの提供を目指しています。それができるのは「人を笑顔にする仕事がしたい」という初心があるからです。自分の仕事に対して自信はありませんが、この思いがあるから、私は作業療法士を、これからも続けていくと思います。



# 嚥下体操

西香川病院 真鍋 千絵

## 1. 頬筋の強化

●**頬を膨らます** (主に咀嚼機能、口の渇きや食べこぼしなどの症状が改善する。)



①左の頬に空気をためる。



②右の頬に空気をためる。



③両頬に空気をためる。



④「ぷっ」と音が出るように両手でつぶす。(大きい音が出るように!)

## 2. 舌機能の強化

●**舌の運動** (主にむせ込みや咀嚼機能の低下、嚥下障害や発音障害の症状が改善される。)



①舌を上下に出す。



②左右に動かす。



③唇をゆっくりなめる。  
(左回り→右回り)



④舌打ちをする。  
(舌をならす)

## 3. 唾液分泌の向上

●**唾液腺マッサージ** (主に口の渇きや嚥下障害などの症状が改善される。)



①耳下腺マッサージ：  
人差し指から小指までの4本の指を頬に当て上の奥歯のあたりを後ろから前へ向かって回す。



②顎下腺マッサージ：  
親指を頬の骨の内側の柔らかい部分に当て、耳の下から顎の下まで5ヵ所くらいを順番に押す。



③舌下腺マッサージ：  
両手の親指をそろえ、顎の真下から優しく押す。

※力を入れると、唾液が出やすいということではありません。優しい力で行いましょう。

# 作品・アクト紹介

## 銅板の打ち出し

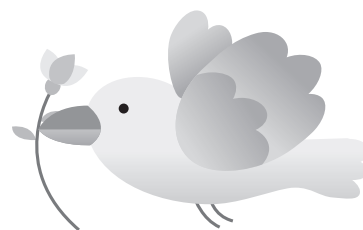
三豊総合病院 津川真智子

合板と銅板を必要なサイズに切断し、銅板で合板を包むようにして釘で固定します。銅板に図柄を描き、図柄以外の部分を凹ませ浮き上がらせるようにします。

麻痺など障害のレベルに合わせて、写真のように道具や方法を変更すれば、巧緻動作訓練、片手動作訓練など目的や適応も広がり、アクトを利用した訓練が苦手……といった男性にも比較的受け入れられやすい印象です。また高次脳機能障害など全ての行程を行うことが難しければ、図案作成のみ、打ち出しのみといった段階付けも可能です。

準備の手間や完成までに少し時間はかかりますが、見映えがよく失敗も少ないため達成感や満足感も得られます。

他施設・病院などの参考になればと思います。



# 新入・転入会員紹介



今年度も多くの方が県士会に入会されました。これからよろしくお願ひします。(順不同・敬称略)

①氏名 ②生年月日 ③出身地 ④出身校 ⑤勤務先 ⑥趣味・特技 ⑦職歴 ⑧自己アピール ⑨抱負

	<p>①田村篤志 ②平成元年10月23日 ③香川県 ④兵庫医療大学 ⑤かがわ総合リハビリテーションセンター ⑥野球・ソフトボール ⑧常に笑顔でニコニコ ⑨新人ですが1人1人の患者様に一生懸命向き合い頑張ります。</p>
	<p>①平田明子 ②8月7日 ③香川県 ④茨城県立医療大学 ⑤かがわ総合リハビリテーションセンター ⑥スノーボード ⑦茨城県でOTしてました。 ⑧マイペースですが、粘り強いです。 ⑨香川県になじめるよう頑張ります！</p>
	<p>①福長俊輔 ②平成2年3月5日 ③香川県 ④穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤かがわ総合リハビリテーションセンター ⑥野球・ゲーム・バスケ ⑧いじられやすい ⑨患者さんを笑顔にできるようがんばります。</p>
	<p>①泉 健二 ③香川県 ④穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤かがわ総合リハビリテーションセンター ⑥テニス</p>



## ～リレーエッセイ 32～

五色台病院 宮本真由美

私は現在、育児休暇を頂き、0歳と1歳の子育てを行っています。子育てをすることは貴重な経験であり、今後の糧になりうるのだと思います。しかし1年間休むとなると、業務内容やスタッフの変更、“感覚”が鈍り以前のようにできるだろうかと不安があります。また子供が小さいうちはなかなか勉強会に参加することができず、母であると同時にいちOTであるがゆえのジレンマも新たに生まれてきます。

作業療法士は若い世代が多く出産後も働きたいという人も多いと思います。しかし以前とは違う状況に戸惑いを覚える人もいないのでしょうか。その時に職場の理解が得られたりサポート体制が整っていたりすると安心感に繋がります。スキルアップの研修会も映像配信など新たな情報受信ツールがあれば働くママOTにとって心強い味方となると思います。「母は強し」という言葉通りパワーアップしたママOTが増えることでOT業界もますます盛り上がっていくはずです。



連載企画  
第二弾!

## 家屋調査



高松協同病院 渡辺 正人

皆さん、こんにちは。3回シリーズで勉強していく「家屋調査」について、2回目の今回は、「家屋調査に行ってみよう」です。改修や福祉用具導入の主要箇所(玄関周辺、トイレ、浴室)を中心に実際に家屋調査に行くことを想定してリアルに考えてみたいと思います。

さあ、家屋調査に行くことやそのメンバーが決定しました。皆さんは何を準備して行きますか。事前情報として間取りを確認してどのような環境か、本人をどの動線で誘導するかイメージします。また、職場での「外勤伺い」などの調査前に提出する書類の有無を確認しておきましょう。必要物品・用途の一例を見てみます。

メジャー	高さ、横幅、奥行きなどを計測
デジカメ	写真や動画を撮影
勾配計	坂道の勾配を計測
記録用紙	調査結果を図示、記録
マスキングテープ・はさみ	手すり設置を検討している位置に貼る
名刺	多職種への自己紹介に用いる

福祉用具カタログ	本人・家族に福祉用具を提案する 福祉用具の情報を確認する
福祉用具類	各種移動補装具などの自宅での動作確認に必要なもの (例)杖、シャワーチェア、浴槽内いす、踏み台、簡易スロープ etc.

その他、職場で用いている環境報告書のなどの書式も持参して記入します。自宅に到着したら同行している本人の転倒予防を第一に考えて行動しますが、リハビリで練習したことを家族に見てもらい良い機会なので過介助にならないように留意します。写真撮影のコツは、どの箇所でも全体がわかるアングル(写真1)に加えて、手すり設置予定の壁や柱なども撮影(写真2)して改修プラン提示では写真に手すりなどを書き込んで使用します。



(写真1)



(写真2)



続いて箇所別に具体的に確認してみましょう。

### ① 駐車場から玄関アプローチ・玄関・上り框

動線の勾配・横幅・段差（高さ&奥行き）を計測して、安全・安楽な移動手段・使用補装具を検討し、通所系サービスや外出につなげます。手すりは壁設置と支柱型も視野に入れ、玄関土間に靴着脱用の椅子を検討することも多いですね。自宅の顔ともいえる場所で、本人・家族のこだわりがあることもあり、デザイン性も考慮します。

### ② トイレ

扉の種類、敷居の有無、トイレ内スペース、便座形状、便座高さ、便座先端から前方の扉及び壁の距離（起立動作に影響）、便座中央から左右の壁への距離（手すり設置時の壁から手すり中央までの空き寸法の検討）を確認します。ペーパーホルダー及び水洗操作の確認、夜間は特に照明スイッチも一連の動作に含めて検討します。

### ③ 浴室

脱衣場との段差、扉の形状、暖房器具の有無、洗い場スペースを確認して、浴槽の高さ・深さ・大きさにより、シャワーキャリーや移乗台及びバスボード・バスリフトなどを検討します。簡易手すりは浴槽縁の幅に、浴槽内いすは浴槽底の形状に注意します。脱衣場には更衣用の椅子や手すりを設置することが多いですね。普段は通所系サービスで入浴をする場合も、正月などサービスが休む期間や失禁の後の衛生管理の為にシャワー浴の環境を検討することもあります。

今回は、玄関周辺、トイレ、浴室の調査一例を紹介させていただきましたが、実際は寝室や台所及び洗濯・物干し場など、本人の動線や役割を想定しながら本人・家族の意向と共に行っていき、介護保険分野ではケアプランも勘案して検討していきます。

次回の最終回では事例紹介をさせていただきます。



# 病院紹介



No.3

介護老人保健施設 すこやか苑

私の勤務している介護老人保健施設すこやか苑は丸亀市郡家町にあり、(医)健仁会岩本病院の併設施設として今年で設立10周年を迎えます。

設立当初から通所リハビリ、入所リハビリに携わり、現在では作業療法士3名と理学療法士1名で利用者個々に合った機能訓練を提供しています。

平成19年より開始された丸亀市通所型介護予防事業を実施し、運動器機能向上グループの特定高齢者を対象に自宅で1人でもできる機能訓練プログラムの立案や提供をすることで自分らしく生き生きと暮らしてもらえるよう試行錯誤しながら運営しています。

利用者に関わるなかで、他職種とチームアプローチがいかに大切かを痛感しています。チーム全体での共通認識により利用者の生活機能向上を図り、これからも利用者の気持ちに寄り添った作業療法が展開できるよう日々邁進していこうと思います。

## ◆◆◆ 保険部 アンケート調査の結果報告について ◆◆◆

昨年11月、養成校と自宅会員を除く会員所属施設に対し、アンケート調査を実施いたしましたので、以下に報告いたします。尚、紙面の都合上、結果の詳細につきましては、別紙にて各施設様に1部ずつ送付させていただきます。各施設様でご覧いただきますようお願いいたします。(別途、アンケート結果を希望される方は、保険部長までご連絡ください。)

- 実施期間：平成25年11月15日(金)～30日(土)
- 対象施設：養成校および自宅会員を除く会員所属施設

①療法士による喀痰吸引の実施に関する調査	送付数109施設、回答数88施設、回答率80.7% ※県士会において喀痰吸引に関する研修会の開催については、61施設(69.3%)より希望するとの回答を得た。次年度以降に、研修会の開催を予定。
②平成24年度 診療報酬改定に伴う現況調査	◆身障領域：送付数50施設、回答数40施設、回答率80.0% ◆精神領域：送付数14施設、回答数12施設、回答率85.7%
③平成24年度 介護報酬改定に伴う現況調査	送付数85施設、回答数66施設、回答率77.6%

ご多忙の中、アンケート回答にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

保険部長 川崎真一

## (社)香川県作業療法士会公共事業部について

公共事業部部长 香川久圭



平成25年4月から(社)香川県作業療法士会に新しく公共事業部が活動をスタート致しました。そこでこの度、会員の皆様に公共事業部がどのような目的で発足したのか、又、どのような役割を担い、どのような活動をしていくのかについて御紹介させて頂きたいと思っております。

現在、本邦の高齢化率は全国平均24.0% (2012年8月時)であり、1960年時には5.7%であった事と比較すると言うまでも無く急激に高齢化が進行しています。今後も高齢化は進む見込みで厚生労働省の試算によると2055年には39.7%に達するとされています。医療保険同様、介護保険給付額も高齢化に比例して増加の一途を辿っていて、介護保険制度発足当初2000年度3.6兆円であったのに対し、2013年度約9.4兆円(当初予算額)程度まで増加する見込みです。これらの現状は本邦の社会保障制度の破綻をも招きかねない危機的状況と言えます。

それに対して、我々作業療法士は、厚生労働省から現在行われている各所属施設での専門性を発揮したりハ実施に加えて、地域包括ケアシステムや認知症初期集中支援チームの中での活躍が求められているように今後さらなる生活期での地域社会貢献が必要です。

その為には、我々、作業療法士は日々自己研鑽に努め、学術的な能力向上を図る事は勿論、人格も含めて育成し、対象者を要介護状態にさせない予防的視点からのリハと、身体障害の改善を図る(もしくは悪化させない)治療的視点からのリハ、及び現状の能力レベルでの生活支援(地域連携、環境整備、主介護者や地域介護保険サービススタッフ、地域住民等への指導・教育・啓発活動等)の全てを実践出来る作業療法士が生活期の地域在宅支援場面で必要となります。

その中でも上記の社会状況を踏まえると主介護者や地域住民等、「活用されていないインフォーマルな資源」への指導・教育・啓発活動は今後の必要性が特に高いと考えられます。それは私自身も海外出張の際に現地で痛烈に感じた事ですが、福祉先進国家とされる北欧デンマークやスウェーデンでは当たり前の事でありまして、医療従事者のみではなく、国民全員の福祉に対する意識が極めて高く、国民意識に裏付けされた高福祉であると感じました。

(社)香川県作業療法士会では公共事業部の活動として、一般住民向けの公開講座の開催、生活期で活躍する訪問リハ実務者研修会の開催、各地への講師派遣、自治体主催のフェスタ等への参加を通して上記の役割を果たす地域社会貢献をしていきたいと考えています。

会員個人としても、これまでと同様、各所属施設の中で医療及び介護保険制度の枠内での対象者対応は勿論、必要不可欠であり継続していかなければいけません。しかしながら、上記の状況を踏まえるとそれだけでは不十分なのかもしれません。

我々、作業療法士には、近い将来、本邦に起こる社会状況を踏まえた地域社会への活躍についても併せて期待されています。



## 事務局連絡

入会 蔵本 徹 (高松協同病院)

異動 伊賀 智子 (自宅)→(いがわ医院)



# ～勉強会案内～

## 1. 第30回日本義肢装具学会研修セミナー

テーマ「筋電義手(筋電動義手)の現状と今後の展望」

日時：2014年3月22日(土)、23日(日)

会場：アルファあなぶきホール【小ホール棟】  
多目的大会議室「玉藻」

参加費：会員12,000円 非会員15,000円 学生6,000円

\*意見交換会：4,000円

(意見交換会へ参加希望される方のみ)

定員：100名

申込締切：平成26年2月7日(金)

(定員になり次第、締め切らせていただきます)

申込方法：必要事項を下記のメールアドレスにお送りください(なお、メールの件名を「日本義肢装具学会申込」としていただくようお願いいたします)。申込はPCメールのみとさせていただきます、10日以内に申込者のE-mailに申込受付のご案内をいたします。

- ①氏名②電話番号③所属先住所④所属⑤日本義肢装具学会会員・非会員・学生(ただし有資格者の大学院生は学生に含まない)⑥職種
- ⑦E-mail(携帯メール不可)

〈問い合わせ先〉

〒761-8057 香川県高松市田村町1114番地

かがわ総合リハビリテーションセンター

第30回日本義肢装具学会研修セミナー事務局

幹事：木下 篤 E-mail：kagawa-reha@mx82.tiki.ne.jp

## 2. 2013年度 四国ブロック活動分析研究大会

日時：2014年3月23日(日)

9:00～ 受付開始

9:30～11:10 一般演題・

実技演題Ⅰセッション

11:25～12:15 臨床研究Ⅱセッション

場所：総合病院回生病院5F講堂

〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5番28号

内容：症例検討

参加費：2,000円(当日徴収させていただきます)

定員：100名程度(先着順)定員に達し次第締め切らせていただきます。

※申し込み受理後、1週間以内に参加決定通知を送らせていただきます。連絡の無い場合は事務局までお問い合わせください。

申込締切：2014年2月28日(金)正午まで

申込方法：下記項目を記載の上、E-mailにてお申送ください。

※携帯メールアドレスはご遠慮ください。

E-mail：shikokukatsubun@gmail.com

①件名：2013年度四国活動分析研究大会参加申込(迷惑メールとの区別をする為、必ず上記のタイトルを記入して送信してください。)

②氏名③所属施設④職種⑤経験年数

懇親会：(大会終了後、13時半頃より坂出市内で5,000円程度で予定しております。)駐車場に限りがございますので、お車をご利用の際は乗り合わせでお越しいたぎますようお願いいたします。

注意事項：当日は実技もありますので動きやすい服装をご用意ください。

〈問い合わせ先〉

ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。  
shikokukatsubun@gmail.com

四国ブロック活動分析研究大会事務局

〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5番28号

総合病院回生病院 リハビリテーション部

作業療法士 藤本 弾

TEL：0877-45-6410 FAX：0877-46-1011

URL：http://shikoku-katsubun.jimdo.com

■(社)香川県作業療法士会ニュースNo.61■

編集長：木村勇介 編集委員：三谷真由美・清家庸介・渡田亜裕美・西城悠加・松江沙祐里・真鍋千絵・川口由起子・亀山多喜子・津川真智子